



12/10、17

使わなくなったものをリメイクして新しい活用を DIY講座（旧平林中学校）

神林地区公民館主催で行われたDIY講座では、旧平林中学校の技術室の机をリメイクしながら、DIYの基本を学びました。

参加者は、やすりや工具の使い方、新しい板をヴィンテージ風にする加工方法など、職人ならではのテクニックを教わり、DIYにますます興味を持った様子。「自宅の物をリメイクしたい」「工具が欲しい」と話していました。この日、生まれ変わった机は、神林地区公民館で活用されています。お越しの際は、ぜひご覧ください。



▲表面の穴や傷をパテで埋めるコツを伝授

12/18

荒川中学校が最優秀賞を受賞!

国際理解教育プレゼンテーションコンテスト新潟市（朱鷺メッセ）



▲左からメンバーのはざまゆいか間唯花さん、こんどう ゆずき近藤柚月さん、ひらたしんたろう平田慎太郎さん、おおや ある大矢愛琉さん

県内の中学生と高校生が国際理解をテーマにした「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」において、荒川中学校「GO!えこっとチーム」が中学生部門で見事に最優秀賞を獲得しました。悲願の最優秀賞受賞を果たしたメンバーの一人で3年生のおおや ある大矢愛琉さんは「気候変動の深刻さを知り、自分たちにできることを真剣に考えました。3年間挑戦し続けたことは、とても良い学びと経験になりました」と話してくれました。

12/19

目標に向けて楽しく、一生懸命に

書道教室（神林総合体育館）

神林地区公民館事業の書道教室に、大人4人、子ども11人の総勢15人が参加しました。

最初は緊張からか筆が進まない様子でしたが、講師から「自分が楽しく、思い切って、一生懸命書いた字が一番良い字なんです」という言葉を聞いて、参加者はコンクールへの出品作品など、自分の目標に向けて好きな字を一生懸命書いていました。



▲講師からお手本をみせてもらう参加者

12/23

伝統を未来へつなぐ

日本国太鼓（府屋集落）



▲楽しみながら練習中

コロナ禍により披露する機会がない状況にある日本国太鼓保存会。そんな中でも伝統の継承のため、練習に励んでいます。一時は未来を担う小学生の会員が3人まで減少しましたが、現在は保育園児1人、小学生児童11人が所属し、賑やかに練習を続けています。

指導する斎藤さんは「まだ入ったばかりの子もいますが、小学生は伝統をつなぐ大きな力。練習に励み、披露できることを楽しみにしています」と話してくれました。

12/25

子どもサンタがやってくる! クリスマスプレゼント大作戦（早稲田集落）



▲サンタに扮した子どもたちからのプレゼントに笑顔

子どもたちから集落の高齢者へクリスマスプレゼント。早稲田おせっかい隊と万山会ばんざんかいが企画した「クリスマスプレゼント大作戦」が行われました。

子どもたちは、高齢者が暮らす家々を訪問し、メッセージを添えた手づくりの折り鶴やクリスマスリースなどをプレゼント。思いもよらぬプレゼントを受け取ったおばあちゃんは「子どもたちの笑顔を見るとがんばろうと思える。長生きできるよう健康に気を付けたいね」と嬉しそうに話していました。

1/1

無火災の1年になるように 元旦に行われた消防団出初式（岩崎集落）

今年1年の無火災祈念と消防技術の確認、機械の点検を兼ねて出初式が行われました。

寒空の強風が吹く中、火災発生時における機械器具の操作を確認し、団員が協力しながら迅速に展開し、放水。終了後の撤去までスムーズに実施されました。

参加した消防団員は「無火災を願いながら、有事の際の迅速な対応に備え、消防団活動を続けていきたい」と話してくれました。



▲スムーズな展開からの放水

1/8

1年越しの対面が実現 令和2年度成人式対象者「つどえっちゃ!むらかみ」開催（市民ふれあいセンター）



▲久しぶりに顔を合わせた参加者

昨年開催された成人式はオンライン形式だったため、参加された皆さんは1年越しの「つどいの場」を心から楽しんでいました。

実行委員の齋藤飛駿さいとうあすまさんは「今日この式典が開催されたことをすごく嬉しく思います。参加してくれた皆さんお帰りなさい」と挨拶。コロナ禍で短時間の式典でしたが、中学校恩師からのメッセージを配布するなど、参加者は久しぶりの再会と思い出話に華を咲かせていました。

1/10

市民の安心安全を祈願しパレード 村上市消防出初式（教育情報センター）



冬晴れの中、消防団員および消防署員による分列行進・車両パレードが肴町えびす坂交差点から教育情報センターまでの間で行われ、規律正しい行進が市民の前で披露されました。

その後行われた式典で大竹消防団長は「自分たちのまちは自分たちが守る。今年は、コロナ禍で引きこもりがちな高齢者への声かけもぜひ行ってほしい」と述べ、今年度の無火災も祈願し、決意を新たにしていました。



▲4列縦隊で規律正しい行進を披露